

15周年特別企画 カバ骨格公開組立



左カバのモグ、右デスモスチルスの骨格：おびひろ動物園での展示風景

カバが立ち上がりました。7月末から化石工房のクリーニング場で組み立て作業を続けてきました。9月末、マルショウ技研の工房で金属の支柱に取り付けられみごと完成です。

10月は「実家」のおびひろ動物園でおひろめ。デスモスチルスと向き合ってあいさつを交わしている光景を見ることができます。おびひろ動物園50周年、足寄博物館15周年の共同企画です。

多くの来館者は「デスモスチルスってカバに似てるね」と感想を述べられます。はたして隣どおしの2頭を見て、「似てる」、「いやちがう」、どちらの感想が多いでしょうか。

11月中頃には、足寄にもどり、館内で公開します。みなさんも是非「似てる・似てない」を確かめてください。

足寄動物化石博物館 フォストリーあしよろ

指定管理者 NPO法人 あしよろの化石と自然

〒089-3727 北海道足寄町郊南1丁目 TEL 0156-25-9100 FAX 0156-25-9101

staff@museum.ashoro.hokkaido.jp

<http://www.museum.ashoro.hokkaido.jp> (博物館だよりpdf版あり)

No. 128

2013年 10月24日発行
(年4回発行)

○ ムカシオオウミウはペンギンだった！？

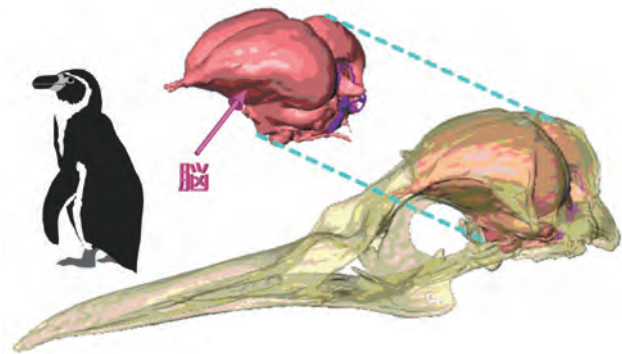
脳の形から謎の化石鳥類に迫る

安藤達郎学芸員が参加した共同研究論文(筆頭著者：河部壮一郎博士 岐阜県博物館)が、イギリスの科学誌、リンネ協会動物学雑誌において出版されます。論文タイトル(日本語訳)は『ムカシオオウミウとペンギン類の脳形態の奇妙な類似』です。

今回の共同研究では、ムカシオオウミウ(プロトプテルム類)の頭骨化石をCTスキャンして脳の形を復元し、今生きているペンギンやウ、カツオドリ、ペリカンなどの海鳥の脳と比較しました。博物館に収蔵されている標本も脳形態の比較に使用されています。

プロトプテルム類はペンギンのような暮らしをしていたと考えられている絶滅鳥類で、日本や北米西海岸の始新世から中新世(約3500~1700万年前)にかけての地層で発見されており、過去の北太平洋沿岸で栄えていました。翼の骨格がペンギンにそっくりですが、ペンギンとは違う種類の鳥だと考えられています。

ところが今回の研究の結果、プロトプテルム類の脳の形はペンギンに最も近いということがわかりました。このことは、プロトプテルム類がペンギンの仲間であった可能性を示すものです。北海道にも本当のペンギンがいたのでしょうか？



○ 古脊椎動物学会に学芸員派遣

足寄動物博物館での研究成果を発表

10月30日から11月2日にかけて米国ロサンゼルスで開催される古脊椎動物学会で、足寄動物化石博物館での研究成果が発表されます。発表は二つあり、一つは足寄を代表する化石の一つである歯のあるヒゲクジラ類に関するもので、歯のあるヒゲクジラ類の首の骨の形などを調べ、エサの食べ方などを検討しています。もう一つの発表はホッカイドウムカシオオウミウの仲間(プロトプテルム類)とペンギンの化石を比較し、ホッカイドウムカシオオウミウとペンギンの類縁関係を調べています。上記の脳の形の比較とも関連のある研究です。今回の米国古脊椎動物学会には澤村寛館長と安藤達郎学芸員が参加します。

○ イベントの報告

夜の博物館

館内の照明をすべて消し、やみ夜の展示観察やヘッドランプでミニ発掘など、夜の特別イベントを行いました。8月16日・17日・18日の三日間で223名の方にご参加いただきました。



化石教室

今年度の化石教室は、天気が悪い日もありましたが、全3回行うことができました。合計で129名の方にご参加いただきました。



バロックコンサート 第5回の開催

8月31日土曜日、ことしも、岩淵恵美子さんのチェンバロを中心に古楽器や歌の演奏が披露されました。105名の方にご来館いただきました。



夏の体験

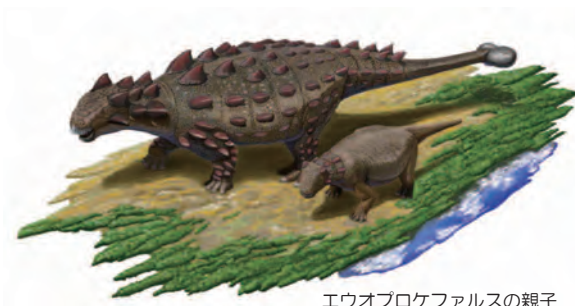
今年の夏は、「キラ砂さがし」「石をみがくと玉になる」を行いました。キラ砂さがしは242個、石みがきは72個提供しました。



写真は石みがき

○ 復元画制作

7月25日、大阪自然史博物館の林博士によって鎧竜の研究が科学誌（PlosOne）に発表されました。その研究のために当館の新村学芸員が復元画を描き、絵はNewtonや朝日小学生新聞などで使用されました。



エウオプロケファルススの親子

ランベオサウルスの模型をつくろう!!

町内の幼児・小中学生限定

日時：2014年1月7日（火）・8日（水）・9日（木）

時間：開館時間中（9：30～16：30）

料金：無料

対象：町内の幼児・小中学生のみなさん

備考：保護者の方は町民研修制度を利用すると入館が無料になります。

型が5個しかないため、一度に5人までしか作れません。



ランベオサウルス

白亜紀後期の北アメリカで見つかったハドロサウルス類の一種。ハドロサウルス類は、北海道では小平町やむかわ町で見ついている。

今年の化石



めのうかまきがい

瑪瑙化巻貝

一か月間、高確率でゲットのチャンス!

来年は午年です！それにちなんでミニ発掘に「瑪瑙化巻貝」を加えます。モロッコ産。（どこがちなんでいるでしょう？）

ミニ発掘：1つ200円（何が出るかは掘ってのお楽しみ）

期間：2014年1月7日から

（1月は通常よりも高い確率で瑪瑙化巻貝が出ます。）

冬の博物館（予告）



日時：2014年1月19日（日）

事前申し込みが必要。

詳しくは町内小中学生に配布する招待券または当館HPまで。

現在、雪中化石探検や氷ミニ発掘を検討中！

足寄町内の小中学生の皆さんへ 冬休みのプレゼント

招待券をプレゼント！！（学校にお願いして配布します）

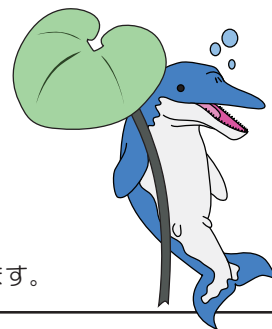
レプリカづくりやミニ発掘を楽しもう！

足寄動物化石博物館の利用について

○開館時間 午前9時30分～午後4時30分（入館締め切り時刻）

○休館 毎週火曜日（祭日の場合は開館し、翌日またはその後の平日）
年末（12月30日から）・年始（1月6日まで）

○料金 一般 400円、小中高・65歳以上 200円
幼児は無料。足寄町内の小中学生は無料。
※館の主催事業の際は、無料にすることがあり、その都度お知らせします。



編集後記

冬の行事をお知らせいたします。あたらしく「冬の博物館」を実施。さてなにがあるやら。ミニ発掘の新種は、瑪瑙（メノウ）化した巻貝の化石。瑪瑙は馬の脳に色が似ていることから名がついた！